

## 諮 問 映 画

映 画 名	丘の上の本屋さん
制 作 者 等	ルチア・マカーレ
内 容 ・ 推 奨 理 由  (案)	<p>本作品は、古書店を舞台に本を通して店主の老人と移民の少年が交流する姿を描いた作品である。</p> <p>老人と少年の交流を通じて、読書や他者との対話から様々な考え方を学ぶことができることを知るとともに、誰でも幸せになる権利があることについて考えることができる。</p> <p>老人が薦める様々な本や世界人権宣言の存在を知ることができ、少年が本についての意見を交わすことで知識を深めていく過程を見ることができる。</p> <p>年齢や国籍の違いを超えて友情を育む姿は人を慈しむ心を育てることができる。</p> <p>同じ本でも人によって価値が変わることや異なる見方があり、人々の関わりの中で視野が広がっていく描写は、思考力を養うことができる。</p> <p>本作品は、条例施行規則第二条の優良図書類等の推奨基準</p> <p>第一号 青少年の社会に対する良識と倫理観を育てるものであること。  第二号 青少年が知識を身につけ、教養を深めていくことに役立つものであること。  第三号 青少年の人を慈しみ、大切にすることを育てるものであること。  第五号 青少年の思考力、批判力又は観察力を養うものであること。</p> <p>に該当し、青少年（主として小学生（高学年）以上）を健全に育成する上で有益であると認め、小学生（高学年）以上を対象に推奨を行う。</p>